

(別紙様式2)

学校名

盛岡中央高等学校

TEL 019-641-0458

## I 学校の概要

- 1 児童生徒数 956名  
学級数 36学級  
教職員数 常勤66名  
非常勤35名

## 2 地域の概要

盛岡市郊外の閑静な住宅地に隣接、付近に大きな河川は無いが、測定可能な河川が学校より西300m付近にある。

## 3 環境教育の全体計画等

ISO14001を導入し、環境教育を重視している。

## II 研究主題

水質調査を中心とする。

## III 研究の概要

### 1 研究のねらい

定期観測を実施することにより、参加生徒の科学的関心を高める。全校に還元することにより、学校全体でその姿勢・実態等を共有する。

### 2 校内の研究推進体制

#### (1) 研究推進体制

科学部と生徒会がタイアップして共同で観測を実施する。

#### (2) 観測体制

週1回程度4名でローテーションを組み、上記河川に出向いて計測し、データをグローブ事務局に転送する。また、校内でもデータを蓄積し、研究や発表に活用する。

#### (3) 観測機器などの設置状況

水温計、採水バケツ、透視度計、pH

メーター、DO測定キット等を購入した。

## 3 研究内容

### (1) グローブの教育課程への位置付け

放課後、上記科学部・生徒会役員により実施。

### (2) グローブを活用した教育実践

観測を始めたばかりであり、まだ全校生徒へは還元されていないが、科学部と生徒会の生徒はデータを共有しており、意識が高まってきている。また、科学に対する関心も高まってきた。

## IV 研究の成果と第2年次に向けての課題

本年実施した活動の成果は、生徒の観測に対する意識の向上と科学に対する関心の高まりである。

第2年次に向けての課題は、定期的に観測を続け、データを蓄積するとともにそれを活用することである。文化祭や校内掲示あるいは外部団体の発表会などを活用し、校内や外部に向けて発信したい。また、グローブ本部にもデータを送信して日本国内や世界各国とも意識を共有したいと考えている。本年は観測実施体制を作り上げることが中心となった。

## V 研究第2年次の活動計画

4月 データ採取・分析・校内掲示

5月 データ採取・分析・校内掲示

6月 データ採取・分析・校内掲示

7月 データ採取・分析・校内掲示

8月 文化祭での発表

9月 データ採取・分析・校内掲示

10月 データ採取・分析・校内掲示

1 1月 データ採取・分析・校内掲示

1 2月 外部発表会での発表

1月 活動の反省

活動の様子

